

## II 関西防災・減災プランの概要

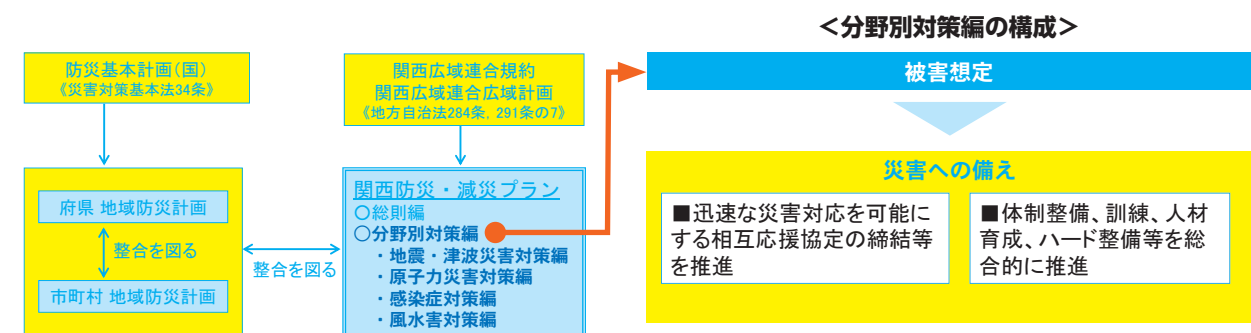
近い将来発生が予想される南海トラフの巨大地震等の大規模広域災害に対し、関西広域連合が構成団体と連携して行う防災・減災対策や災害発生時の対応方針を体系的に定めます。

**プランの特徴** プラン全文は広域連合HPからご覧いただけます <http://www.kouiki-kansai.jp>

- 1 全国初の本格的な広域の防災・減災プラン
- 2 「受援」のあり方に踏み込んだプラン
- 3 災害対応の一連の過程をシナリオ化したプラン
- 4 関係機関による災害対応の全体像を示したプラン
- 5 多様な主体との連携・協力を進めるプラン
- 6 2つの大震災(阪神・淡路、東日本)の教訓を盛り込んだプラン

**「受援」とは**  
外部の支援を受け入れ、うまく使いこなすことです。元々ボランティアの力を被災地側が十分生かし切れていないのではないかなど問題意識から出てきた言葉ですが、東日本大震災後は、ボランティアに限らず外部の様々な支援を受け入れ、活用する「受援」のあり方を自治体などがあらかじめ検討しておくことが重要と考えられています。

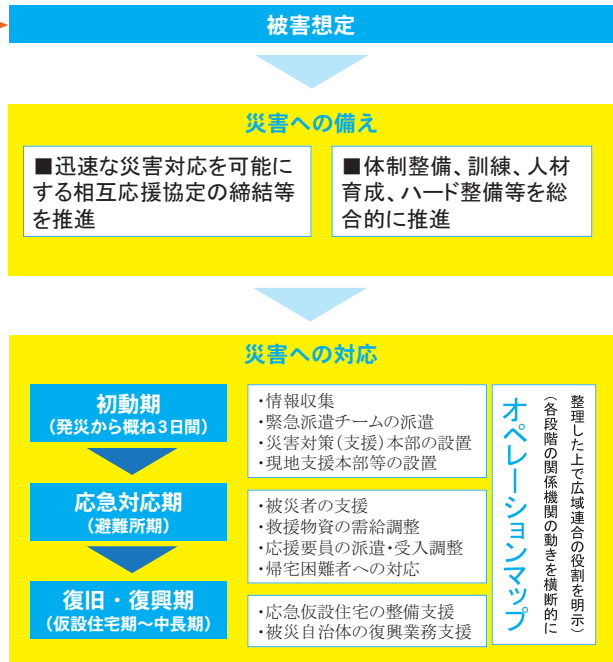
### プランの位置付け



### プランのここに注目!

- ・常に見直しを行い、最新の知見を盛り込む「充実・発展型」のプランです。
- ・「災害への備え」の実施状況を毎年度点検・評価し、着実にフォローアップを行います。
- ・「災害への対応」では、災害対応の各段階の関係機関の動きを網羅する「オペレーションマップ」を示すことにより、広域連合の役割を明示しました。

### <分野別対策編の構成>



### 関西広域応援・受援実施要綱

大規模広域災害時に広域連合が中心となって行う災害対応の手引き(マニュアル)となるものです。構成団体その他関係機関・団体と連携して円滑に災害対応に当たることができるよう、生活物資の供給、要員派遣、避難、仮設住宅整備など災害対応の様々な分野ごとに、応援・受援の実施体制と活動手順などを示します。

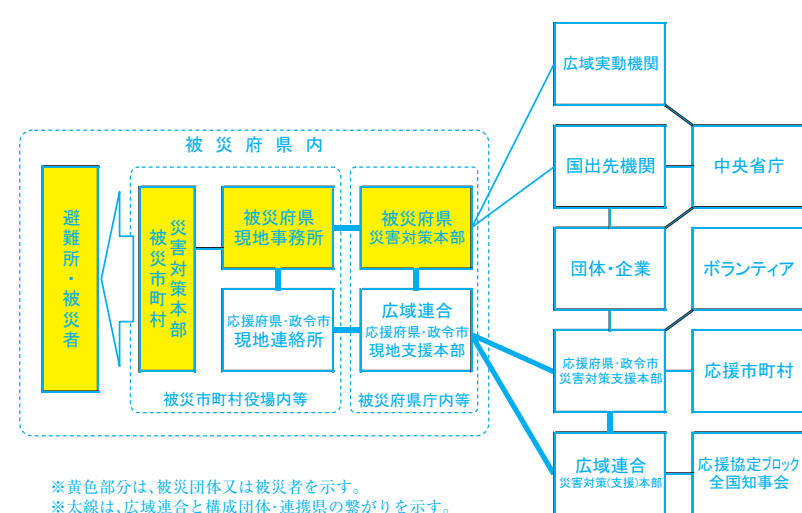
#### ○応援の種類

- ① 応援要員の派遣
- ② 生活物資の供給
- ③ 避難者・傷病者の受入

#### ○応援・受援の調整方法

- ・広域連合が被災府県の応援要請に基づき、応援府県に応援内容・応援先を割当て
- ・被災府県が複数の場合は、原則として、応援府県に特定の被災府県を割り当てる「カウンターパート方式」により応援

### 応援・受援の体制(概略図)



※黄色部分は、被災団体又は被災者を示す。  
※太線は、広域連合と構成団体・連携先の繋がりを示す。

様々な訓練に活用して内容を検証し、改善を続けていきます。

### 災害発生時の心得

私たちの生活は常に災害と隣り合わせです。速やかな行動があなたや家族の身を守り、被害を最小限に抑えられます。いざという時に備えて、日頃から確認を行いましょう。

#### 災害発生時の心得

- まず落ち着いて、身の安全を確保する
- あわてて外に飛び出さない
- ドアや窓を開けて出入り口を確保する
- あわてず冷静に火災を防ぐ
- 避難は徒歩で、持ち物は最低限に
- 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりには近寄らない
- 最新の気象情報、避難情報を入力する
- 協力しあって、応急救護・救出活動を

#### ① 津波から避難をする際のポイント

- 揺れを感じたとき、また津波注意報や津波警報、大津波警報が発表されたときは、直ちに海岸から離れ、海岸や低地では高台などの安全な場所に避難する
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない
- 避難勧告・指示は守り、避難所に避難する



#### 津波警報・注意報の種類

種類	発表される津波の高さ 数値での発表	想定される被害と取るべき行動
大津波警報	10m超 10m 5m	巨大 ・木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 ・ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	3m	高い ・標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 ・ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m	— ・海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 ・ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※ H25.3.7 から適用

### 関西広域連合

Union of Kansai Governments  
関西広域連合ホームページ <http://www.kouiki-kansai.jp/>  
関西広域連合 検索

#### 広域防災局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課内  
TEL 078-362-9815 FAX 078-362-9839  
E-mail bousai@kouiki-kansai.jp

# 関西の防災・減災

～地震津波・風水害への備えをより確かなものに～



地域のチカラを結集し、安全で活力ある関西へ

### 関西広域連合広域防災局

## I 関西広域連合における防災・減災の取り組み

関西全体の防災の責任主体となる広域連合のもとに構成団体の力を結集し、そのネットワーク化を図ること、関西の防災・減災力を底上げし、世界の防災・減災モデルとなる「関西」を目指します。

### 関西広域連合とは

複数府県で構成する全国初の広域連合として、平成22年12月に設立。府県域を越える広域課題に一元として取り組み、地方分権の突破口を開くことを目指します。

#### 【構成団体】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市(2府5県4政令市)  
※福井県、三重県、奈良県は連携団体

### 広域連合で防災・減災に取り組む意義

- 1 広域連合が司令・調整役となることで関西として迅速な意思決定・災害対応が可能になる。
- 2 構成団体の優れたノウハウを共有することで、質の高い災害対応を行うことが可能になる。
- 3 関西を活動エリアとする国の機関や事業者との連携が容易になり円滑な災害対応が可能になる。
- 4 これまで取り組んでこなかった府県域を越える広域的な防災・減災事業の共同実施が容易になる。

### これまでの主な取り組み

#### 東日本大震災への対応

- 平成23年 3月11日 発災  
3月13日 緊急の広域連合委員会を開催
- ◇ 支援対策に係る緊急声明(第1次)の発表
  - ◇ ①被災地対策、②支援物資等の提供、③応援要員の派遣、④避難生活等の受入について積極的に取り組むことを発表
  - ◇ カウンターパート方式による応援担当府県の決定
  - ◇ 被災地で直接情報収集に当たる「現地連絡所」の開設
  - ◇ 継続して支援を実施



宮城県名取市岡上地区の被災状況



関西広域連合委員会(H23.3.13)

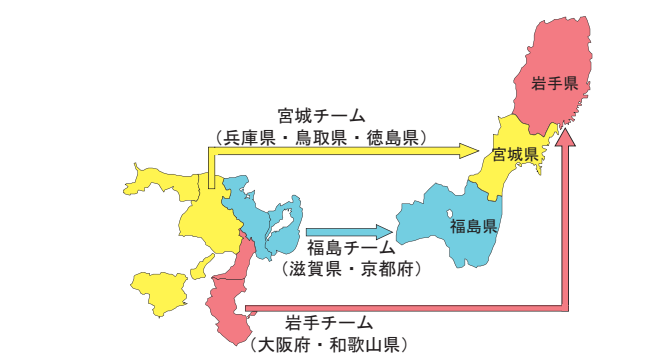


現地連絡所(宮城県南三陸町)



図上訓練

#### カウンターパート方式による支援



#### 「カウンターパート方式」とは

広域連合による総合調整の下、構成団体ごとに担当する被災府県を決める方式。被災地のニーズ等を踏まえ、迅速で効果的かつ継続的な支援を実施。

#### 平成23年台風12号災害への対応

- 平成23年9月2日 広域防災局情報収集体制
- ◇ 物的支援(和歌山県)
  - ◇ 人的支援(和歌山県、和歌山県田辺市、奈良県)
  - ◇ ボランティア等派遣

#### 企業・団体との連携推進

- コンビニエンスストア等との「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」の締結(帰宅支援サービスの提供)[H25.3]
- 旅客船協会との「船舶による災害時の輸送等に関する協定」の締結(災害時の水上における緊急輸送)[H25.3]
- 阪神・淡路まちづくり支援機構との「復興まちづくりの支援に関する協定」の締結(災害時の弁護士等の専門家の派遣)[H25.3]
- P&G(株)との「大規模広域災害時における救護物資の提供・調達に関する協定」の締結(平時及び災害時の乳幼児用紙おむつ等の救護物資の提供・調達)[H25.2]
- 原子力事業者との情報連絡に係る覚書の締結(関西電力、日本原電、日本原子力研究開発機構)[H24.3]

#### 関西広域応援訓練の実施



近畿府県合同防災訓練(H24.10)

#### 「減災」とは

被害の発生を予想した上で、その被害を少しでも軽減することです。「防災」対策を講じても被害は生じるとの認識のもと、結果的に被害を最小化するため、家屋の耐震化、防災訓練の実施など、様々な取組の組み合わせを考えると重要な発想から、阪神・淡路大震災以降よく用いられるようになった言葉です。